

解 答	51. (D)	52. (B)	53. (B)	54. (D)	55. (B)
-----	---------	---------	---------	---------	---------

51. 「ラジオでアナウンサーが、今週末は2010年以来最も暑くなるだろうと言っていました。外出の際は必ず、十分に水を飲んで、日焼け止めを使うべきです」

【誤】(D)enough of→【正】enough

- ...they drink (D)enough of water(十分な量の水)...

上記の文でenoughは名詞として用いられていますが、「十分な量の水」という場合は形容詞として用いて **enough water**と表現します。enough of+(代)名詞(十分な数[量]の~)という語法もありますが、この場合はofの後ろには代名詞や固有名詞、またはtheなどで限定された名詞が入ります。

[語句]

□ **on the radio** 「ラジオで」

□ **make sure that**節 「必ず~するように手配する/~を確かめる」

He **made sure that** the job would be properly done.

(彼はその仕事がきちんとされるように手配した)

52. 「高校卒業以来20年も経ったなんて信じられません。ここの学生だったのがつい昨日のことのように思えます」

【誤】(B)were passing(過去進行形)→【正】have passed(現在完了形)

- ...that 20 years (B)were passing since I (C)graduated from high school.

下線部(B)の正誤に関しては、接続詞since(～して以来)がポイントです。sinceを伴う文の主節(=20 years were passing)では完了時制を用いるのが原則です。

本問では高校卒業時を起点として、それ以降の時の経過を述べているのでwere passingをhave passed(現在完了形)とすれば正しい表現になります。

[語句]

□ **find it easy [hard, difficult] to do** 「~するのは容易だ[難しい]と思う[わかる]」

► itはto doを受ける形式目的語です。

I **find it difficult to operate** this machine.

(この機械を操作するのは難しいということがわかった)

□ **graduate from** ~「~を卒業する」

He **graduated from** Harvard in 1999 with a degree in law.

(彼は1999年にハーバードを卒業し法学の学位を得た)

□ **only yesterday** 「つい昨日」

53. 「旅行客のなかには、歴史や名所、訪問地を十分理解するため、旅行前にたくさん本を読むのが好きな人もいれば、事前にガイドブックを読まず、すべてを体験してみることを好む人もいます」

【誤】(B)take→【正】have[get]

- ...(B)take a good idea of history, sights, and places that they are visiting

下線部(B)におけるideaは「理解、知識」という意味です。「~について理解する」という熟語として使われる場合は動詞have, getと結びついて have[get] a idea of ~というふうに使われます。よって、take→have[またはget]とすれば正しい表現になります。

[語句]

□ **in order to do** 「~するために/~するように」 (=so as to do)

► 不定詞が『目的』であることをはつきりと示す文語的な表現です。

I started early **in order to avoid** the rush hour.

(私はラッシュアワーを避けるために早く出発した)

□ prefer doing[to do] 「～することが好きである」

▶ preferはto doとdoingの両方を目的語にとることができます。

I prefer driving to being a passenger.

(車は乗せてもらうより運転する方が好きだ)

I prefer to work rather than to be at home.

(私は家にいるより仕事を持ちたい)

54. 「メトロポリタン美術館は1870年にニューヨークで設立されました。10年後、セントラルパークに移転し、そのまま今日に至っています」

【誤】(D)which→【正】where[in which]

▶ まず(A)was foundedのfoundedはfindの過去分詞ではありません。**found**「(会社・学校など)を設立する」という他動詞の過去分詞形による受動態で、「設立された」という意味になります。

[例] Our school was **founded** in 1900.

(我々の学校は1900年に創立された)

▶ それでは下線部(C), (D)について考えていきましょう。

...the museum (c)moved to Central Park, (d)which it remains today.

Central Parkは地名ですので、(c)moved to Central Parkは「セントラルパークに移転した」という意味の正しい表現です。

下線部(D)に関しては、直前をコンマ(,)で区切られていることから、ここでは(D)whichが継続用法の関係詞として正しいかを検討します。

「it(主語)=the museum」でremain(動詞)は「(ある場所に)とどまる」という意味の自動詞です。関係代名詞which以下は第1文型としてSVの揃った完全な文になっているので、**主格/目的格**の関係代名詞であるwhichでは不適です。前置詞inを補うか、which→where(関係副詞)とすればつじつまの合った正しい文になります。

55. 「オーストリアとスイスの山脈は、ワインタースポーツ愛好家の間でとても人気があります。しかし残念なことに、スキー場やリフトのために道を作るため、多くの木々や山の植物が伐採されています」

【誤】(B)on→【正】among[with]

▶ 形容詞**popular**(人気のある)や動詞**provide**、受動態**be known**(知られている)などが登場したら前置詞に要注意です。例えば**popular**では人気のある『理由』と『対象』で用いられる前置詞が異なり、この違いが南山ではよく狙われるからです。

□ be popular for ~「～で人気がある」

This car is popular for its fuel efficiency. [理由]

(この車は燃費が良いので人気が高い)

□ be popular with[among] ~「～の間で人気がある」

The video game is popular with[among] children. [対象]

(そのテレビゲームは子供たちに人気がある)

...are very (B)popular on winter sports fans. に関して winter sports fan(ワインタースポーツ愛好家)は人気のある『対象』ですから、on→among[with]とすれば正しい表現になります。

▶ (c)are being clearedは進行形の受動態で、森林伐採が現在進行形で行われているということを表す表現です。

[語句]

□ **clear** 「(障害物などを)を取り除く」

The police **cleared** homeless people from the park.

(警察はホームレスの人々を公園から排除した)

□ **make way for** ~「～に道をあける[譲る]」

make way for the ambulance(救急車に道をあける)